製品名: BMP-2 ウサギポリクローナル抗体
カタログ番号: APRab07592
研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20℃で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	BMP2
別名	BMP2; BMP2A; Bone morphogenetic protein 2; BMP-2; Bone morphogenetic protein 2A; BMP-2A
遺伝子 ID	650.0
SwissProt ID	P12643
免疫原	骨形成タンパク質 2 から得られた合成ペプチド（アミノ酸範囲：341-390)

背景

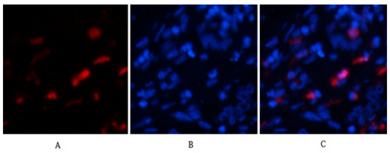
この遺伝子は、TGF-β（形質転換成長因子 β）スーパーファミリータンパク質の分泌リガンドをコードしています。このファミリーの

リガンドは様々な TGF-β 受容体に結合し、遺伝子発現を制御する SMAD ファミリー転写因子のリクルートメントと活性化を引き起こします。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によってジスルフィド結合したホモ二量体の各サブユニットが生成され、骨と軟骨の発達に役割を果たします。この遺伝子の下流の調節領域の重複は、ヒト患者において人差し指と第二趾の奇形を特徴とする短指症の一形態を引き起こします。[RefSeq 提供、2016 年 7 月], 機能：軟骨と骨の形成を誘導する。, オンライン情報：骨形成タンパク質 2 エントリ, 類似性：TGF-β ファミリーに属する。, サブユニット：ジスルフィド結合したホモ二量体。GREM2（類似性により）および SOSTDC1 と相互作用します。,組織特異性:肺、脾臓、結腸に特に豊富に存在し、心臓、脳、胎盤、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓、前立腺、卵巣、小腸にも低レベルですが有意に存在します。,

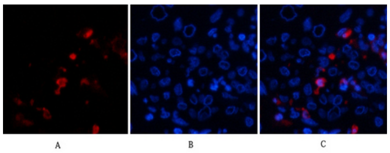
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用、ヘッジホッグ、TGF-β、癌における経路、基底細胞癌、

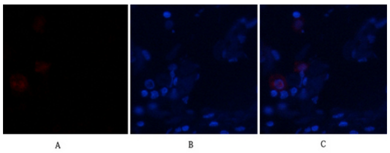
画像データ



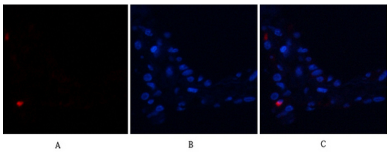
ヒト肝組織の免疫蛍光染色。1, BMP-2 ポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4℃、一晩）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B：DAPI（青）10 分。図 A：ターゲット。図 B：DAPI。図 C：A+B の合成。



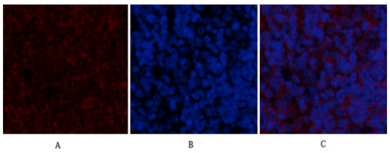
ヒト肝組織の免疫蛍光染色。1, BMP-2 ポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4℃、一晩）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B：DAPI（青）10 分。図 A：ターゲット。図 B：DAPI。図 C：A+B の合成。



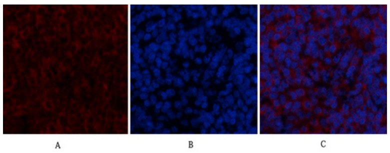
ヒト肺組織の免疫蛍光染色。1, BMP-2 ポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4℃、一晩）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B：DAPI（青）10 分。図 A：ターゲット。図 B：DAPI。図 C：A+B の合成。



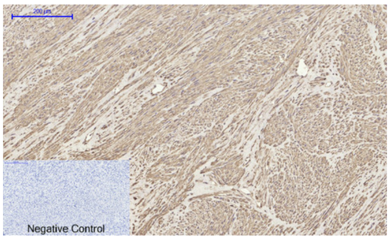
ヒト肺組織の免疫蛍光染色。1, BMP-2 ポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4℃、一晩）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B：DAPI（青）10 分。図 A：ターゲット。図 B：DAPI。図 C：A+B の合成。



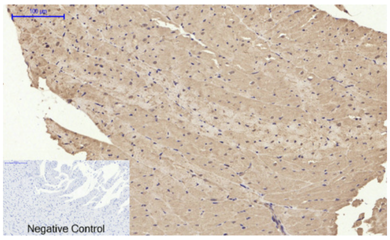
ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, BMP-2 ポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4℃、一晩）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B：DAPI（青）10 分。図 A：ターゲット。図 B：DAPI。図 C：A+B のマージ。



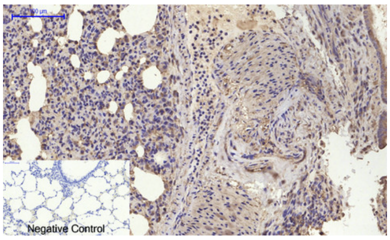
ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, BMP-2 ポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4℃、一晩）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B：DAPI（青）10 分。図 A：ターゲット。図 B：DAPI。図 C：A+B のマージ。



パラフィン包埋ヒト子宮組織の免疫組織化学染色。1. BMP-2 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈（4℃、一晩）。2. クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を用いて抗体賦活化（>98℃、20 分）を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30 分）。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋ラット心臓組織の免疫組織化学染色。1. BMP-2 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈（4℃、一晩）。2. クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を用いて抗体賦活化（>98℃、20 分）を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30 分）。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋ラット肺組織の免疫組織化学染色。1. BMP-2 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈（4℃、一晩）。2. クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を用いて抗体賦活化（>98℃、20 分）を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30 分）。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。